

株式会社ライトワークス 2025年1月期 第3四半期 決算説明資料

2024年12月
東証グロース：4267
LIGHTWORKS

01	2025年1月期 第3四半期 実績	……	P 3
02	サービス別売上高および売上総利益率の推移	……	P 10
03	ソフトウェア減価償却費の推移とROE対策	……	P 14
04	2025年1月期 第3四半期 トピックス	……	P 17
05	2025年1月期 通期業績見通し	……	P 19

01

2025年1月期 第3四半期 実績

2025年1月期 第3四半期累計 連結損益計算書

(単位：百万円)

	2024年1月期 第3四半期累計実績	2025年1月期 第3四半期累計実績	前年同期比
売上高	2,269	2,604	+14.8%
売上総利益	840	938	+11.6%
営業利益	120	190	+59.0%
経常利益	119	179	+50.0%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	119	117	▲1.3%
※特別利益を除いた 親会社株主に帰属する 四半期純利益	75	117	+56.1%

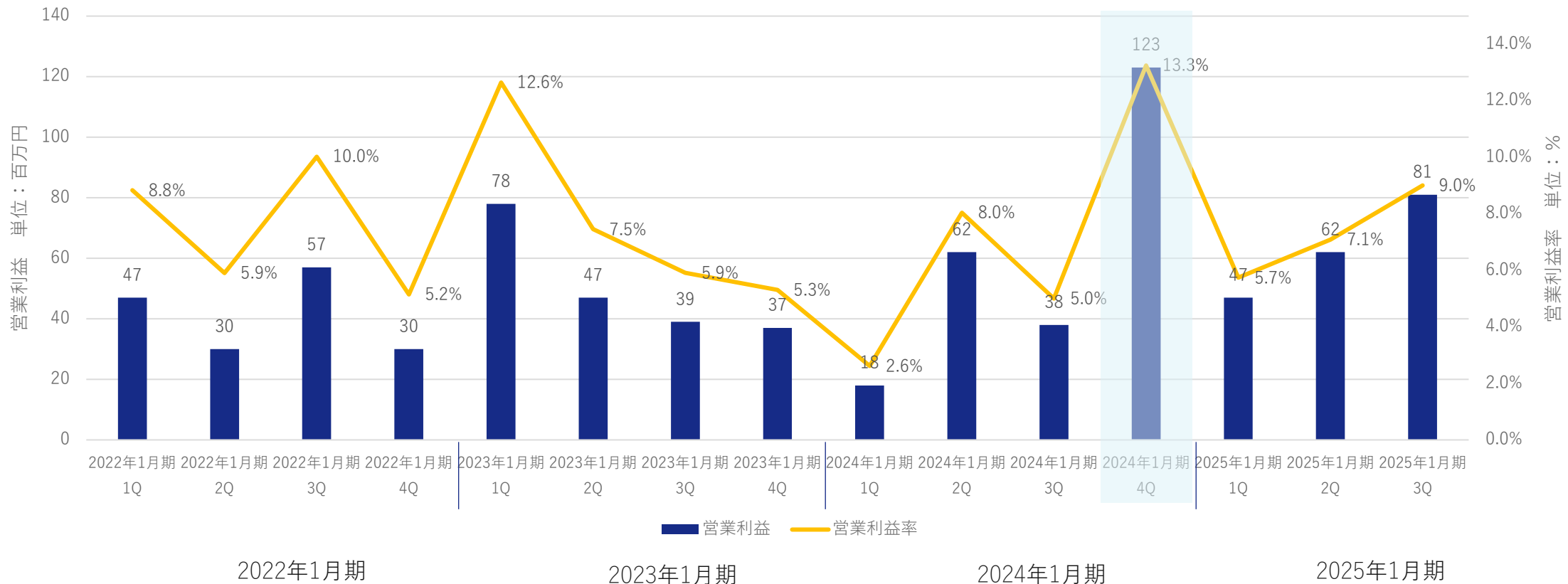
- ✓ 売上高は前年同期比+14.8%の増収となりました。
- ✓ 前期と比較してソフトウェア減価償却費、インフラ費用、人件費などは成長に伴い増加しているものの、前期に発生した採用費などの一時的支出が抑制された結果、営業利益は前年度比+59.0%の増益となりました。
- ✓ 上記の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は117百万円となりました。一方、2024年1月期第3四半期は、特別利益67百万を計上しております。その影響を除くと、実質56.1%の増益となっております。

連結営業利益及び営業利益率 四半期ごとの推移

(百万円)

四半期別 営業利益 営業利益率

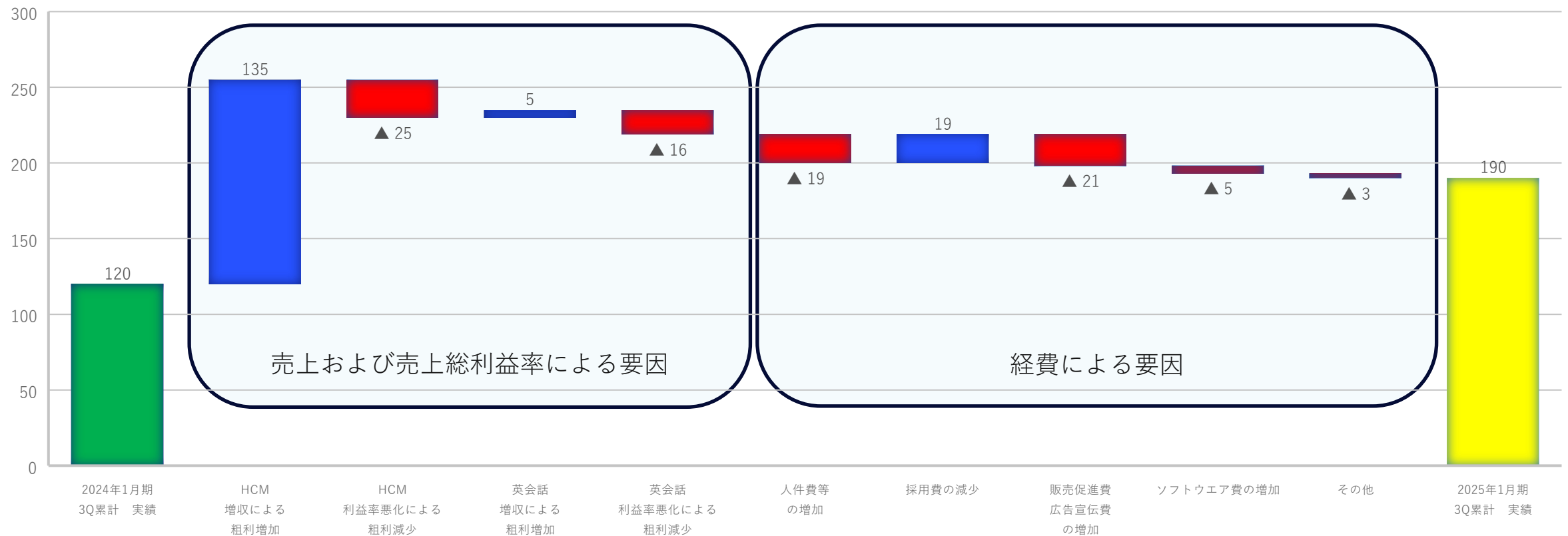
大口案件開始集中などによる大幅増収の影響



2025年1月期 第3四半期 連結営業利益 対前期差異要因

(百万円)

2025年1月期 第3四半期累計 連結営業利益 対前期差異 要因



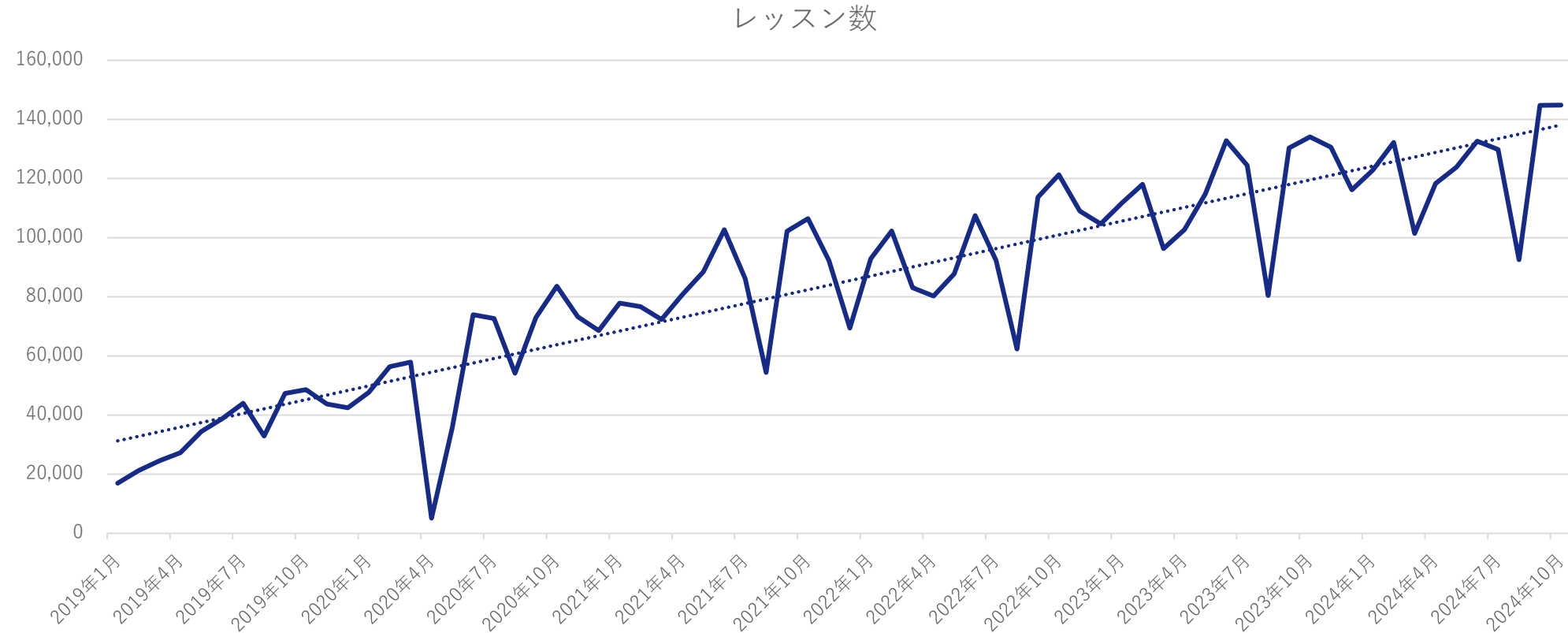
CAREERSHIP®の利用者数

2025年1月期第3四半期も引き続き利用者数は増加、前四半期比で約21万ID増加

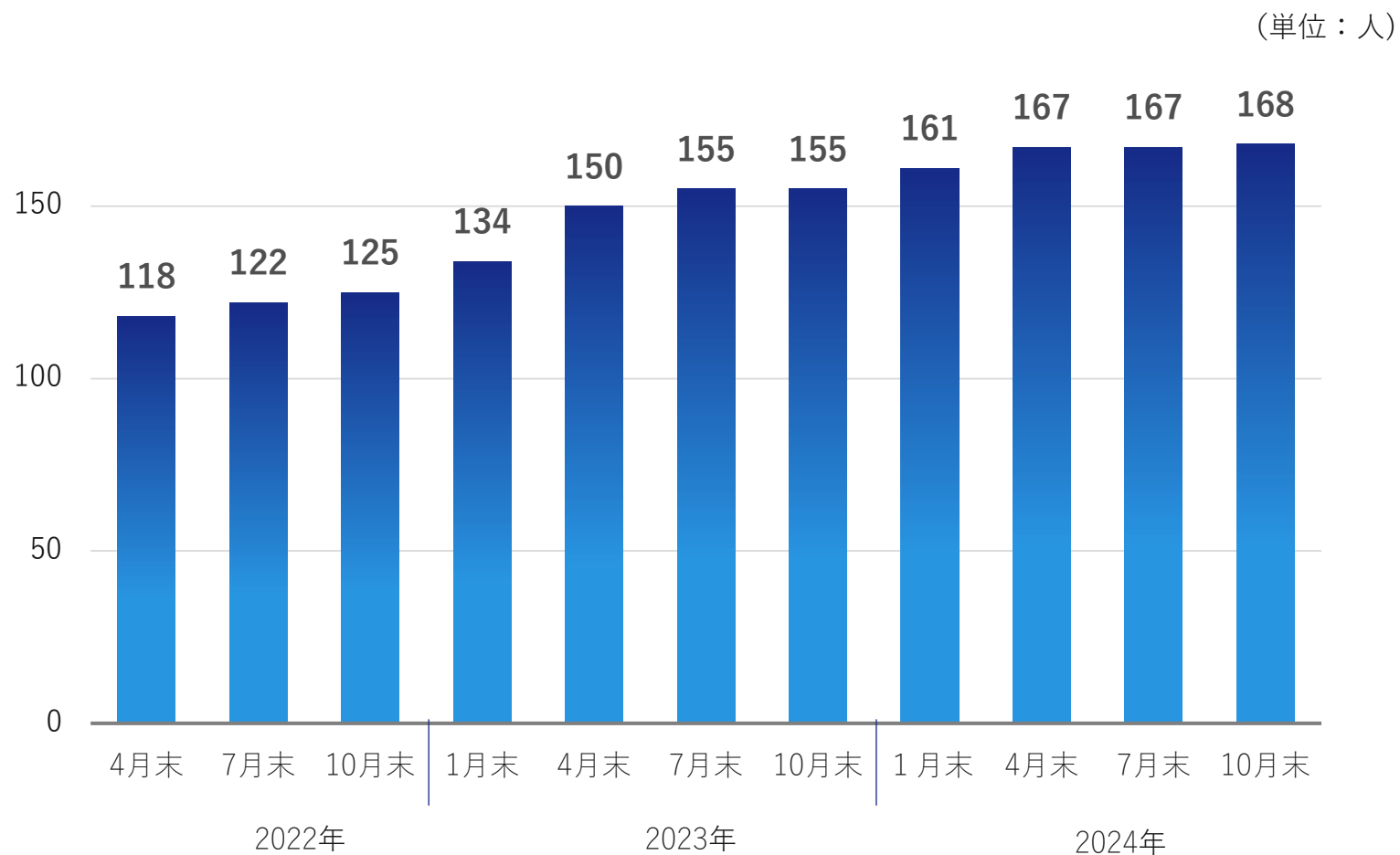


オンライン英会話サービス 月間提供レッスン数

季節変動はあるものの、一月あたり平均1,800レッスン数ほど増加。



従業員数



- ✓ 2024年10月末は2024年1月末から7名の増加。
- ✓ 事業規模拡大を見込んで先行していた採用活動は一旦落ち着き、今後採用数は抑制する予定です。

02

サービス別売上高 および
売上総利益率の推移

2025年1月期 第3四半期累計 サービス別業績

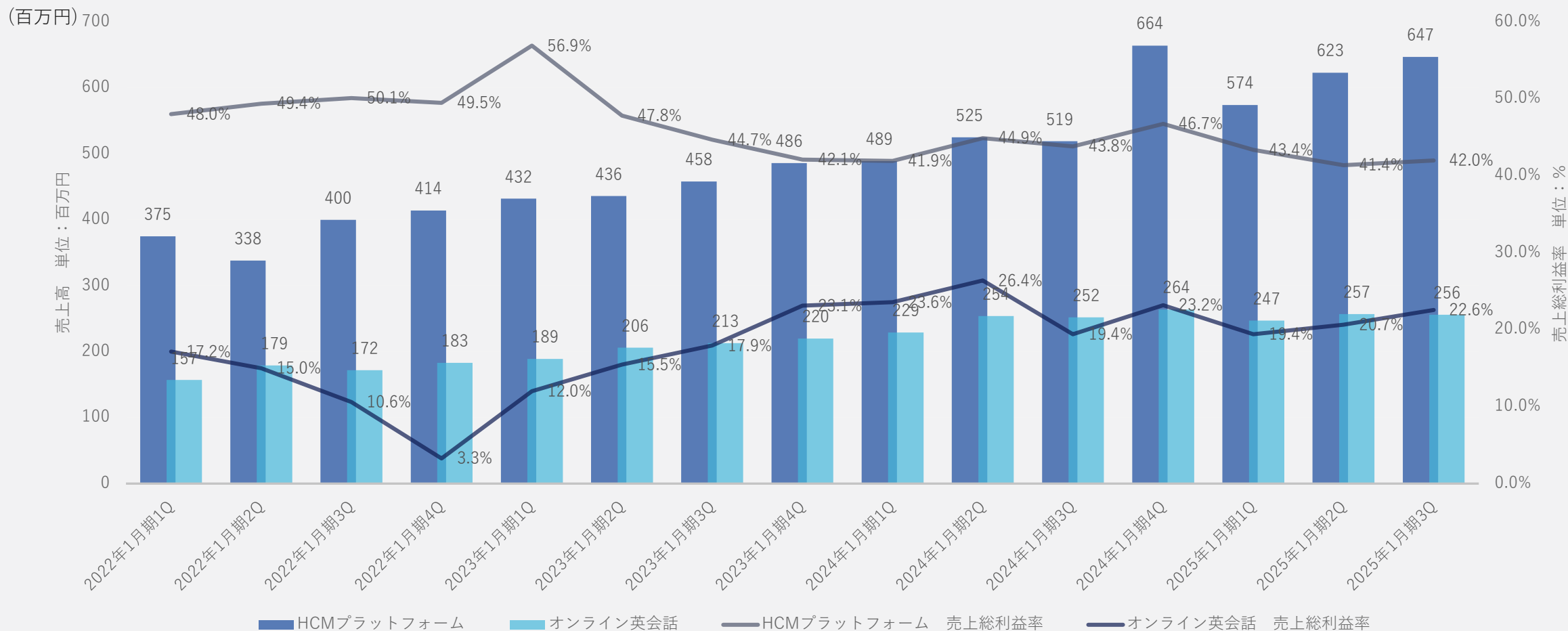
サービス別前年度比較

単位：百万円

	HCMプラットフォームサービス				オンライン英会話サービス			
	2024年1月期 第3四半期 累計	2025年1月期 第3四半期 累計	差異	増減率	2024年1月期 第3四半期 累計	2025年1月期 第3四半期 累計	差異	増減率
売上高	1,532	1,843	311	20.3%	734	759	24	3.4%
売上原価	864	1,065	201	23.3%	564	600	36	6.4%
売上総利益	668	778	110	16.5%	169	158	▲11	▲6.6%
売上総利益率	43.6%	42.2%	▲1.4%	—	23.1%	20.9%	▲2.2%	—

- ✓ HCMプラットフォームサービス：売上は順調に推移している一方、前年同期比でソフトウェア減価償却費、インフラ費用等は増加しており、売上総利益率は対前年同期比で悪化しました。
- ✓ オンライン英会話サービス：売上は順調に推移している一方、急激な円安と講師センターのあるフィリピンでの賃金上昇により講師代が高騰しており、売上総利益率は対前年同期比で悪化しました。
- ✓ 上記以外にその他サービス売上が1百万あります。

サービス別 売上高および売上総利益率 四半期ごとの推移



コロナ影響や講師センターのある
フィリピンでの災害による影響

2022年1月期4Qからずれ込んだ大口案件の
初期導入支援等による一時的な利率向上

サービス別 売上高および売上総利益率 要因

【サービス別売上高 要因】

- ✔ HCMプラットフォームサービス、オンライン英会話サービスとも順調に推移しています。
- ✔ HCMプラットフォームサービスは**前期契約案件の稼働開始が連続**しており、売上は順調に推移しております。
- ✔ オンライン英会話サービスは学校向けサービスが終了した一方、**BtoCサービス（クラウドティ）が安定して成長しており、**更なる成長が見込まれます。

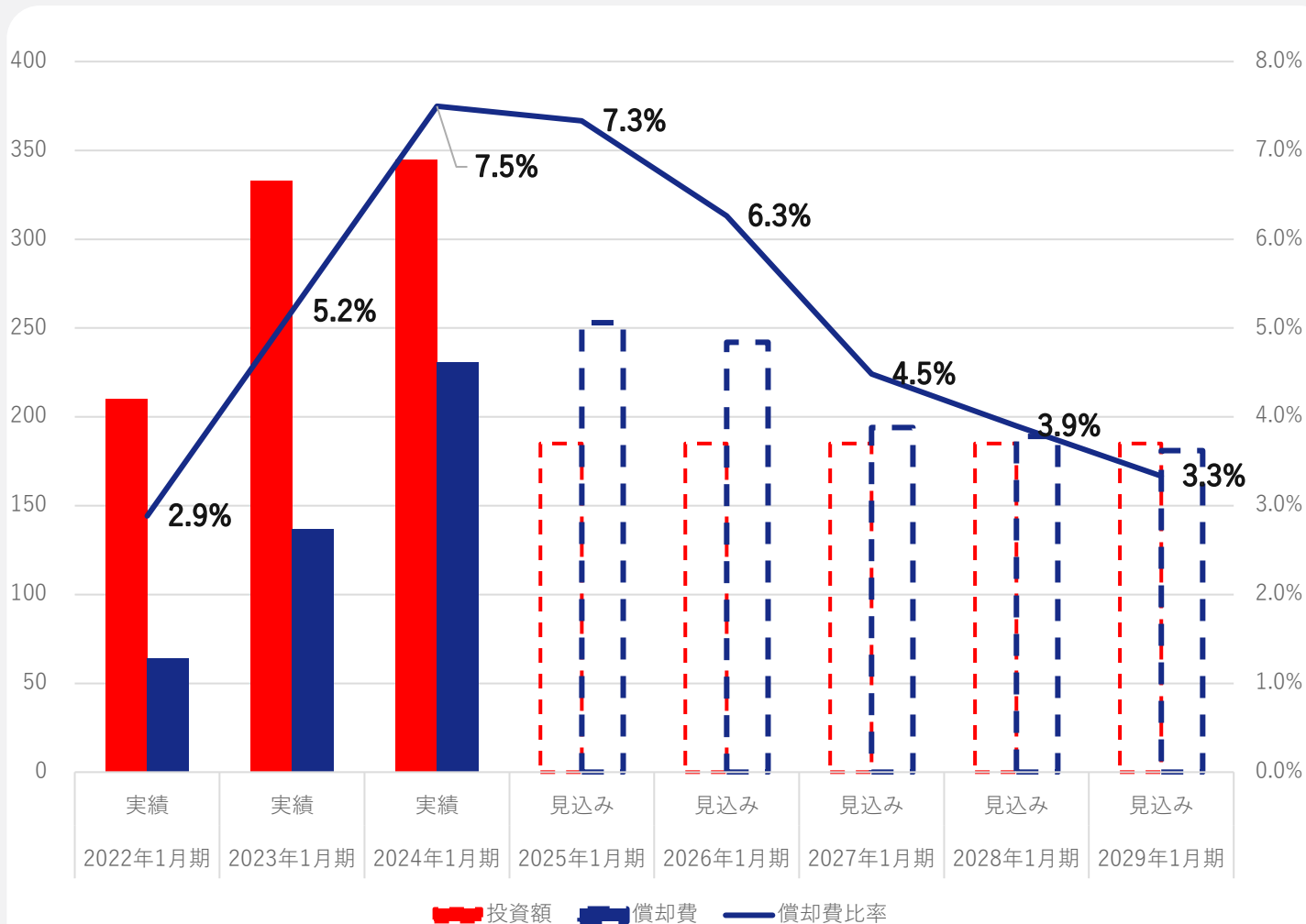
【サービス別売上総利益率 要因】

- ✔ HCMプラットフォームサービスはサーバーの置き換えなどの施策の効果により、原価率が増加しておりますが、減価償却費に影響を及ぼす開発投資については既にピークを過ぎており、以降は通常の新規機能開発のみを行う方針であるため、**今後徐々に売上総利益率は向上していく見込み**です。
- ✔ オンライン英会話サービスは急激な円安及び講師センターのあるフィリピンの大幅な賃金上昇による影響で講師代が増加しており、売上総利益率は前年度比で大幅に悪化しております。今後は、**価格改定と講師人員体制の効率化をより強化し、**売上総利益率の向上を目指します。

03

ソフトウェア減価償却費、サーバー費の推移とROE対策

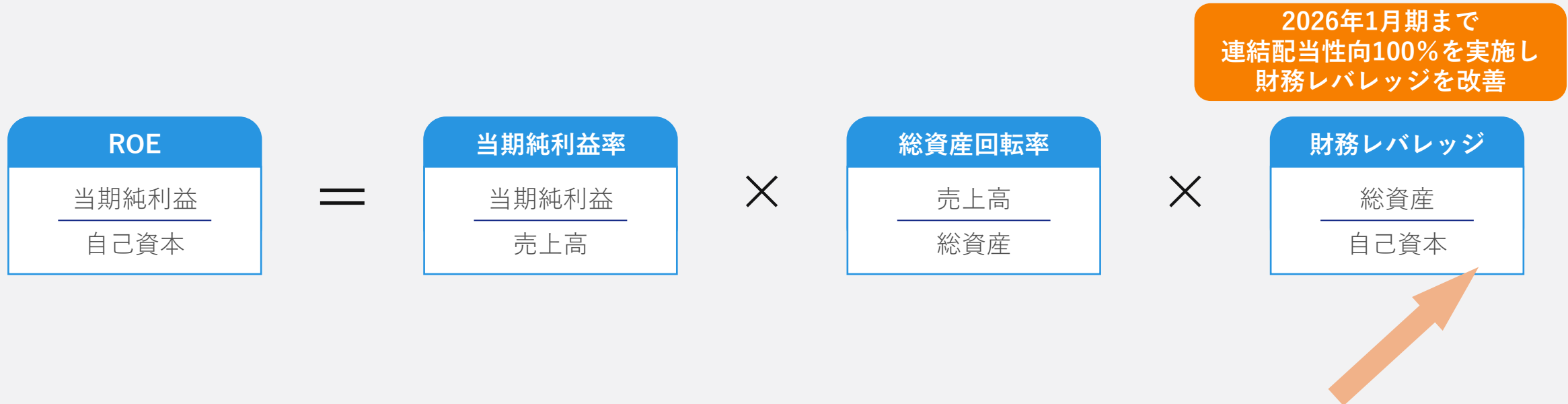
ソフトウェア減価償却費 見込み



ここ数年大規模バージョンアップを実施中であり、また、2023年1月期よりパフォーマンス改善を行うべく投資額を増強しております。前者については既に開発のピークは過ぎており、今後は定常的な機能追加開発のみを行う予定です。それに伴い、減価償却費は左の図の通り推移する見込みとなっています。2025年1月期をピークに2026年1月期までは年間2億円を超える償却費水準が続きますが、その後は徐々に低下する見込みです。

一方、売上高については受注残の推移などから対前年比で10%から15%の安定的かつ継続的な成長を見込んでいます。これらが現状の見込みで推移する場合、償却費の対売上高比率は2025年1月期をピークに徐々に低下していき、2027年1月期以降は5%以下になる見込みです。

2026年1月期までのROE向上のための対策方針 ①



安定的かつ継続的な売上高の成長の一方、ソフトウェア減価償却費とサーバー費の高止まりによって、当期純利益率ならびに総資産回転率は2026年1月期までは大きな改善は見込んでおりません。そこで、ROEの改善を図るべく配当政策の基本方針の変更（配当性向100%）によって自己資本の抑制を図り財務レバレッジを改善してまいります。

04

2025年1月期 第3四半期
トピックス

2025年1月期 第3四半期 トピックス

▼ 弊社HP・ニュースリリースより抜粋

NEWS RELEASE

株式会社ライトワークス
2024年10月9日

ライトワークス、従業員数1,000名以下の企業に向けて
オールインワンeラーニングサービス「CAREERSHIP GROWTH」を提供開始
～システムとコンテンツを一体化して、価格も大幅に見直し～

クラウド型学習管理システム（LMS）市場で最大の売上シェア*を持つ「CAREERSHIP（キャリアシップ）」を開発・提供する株式会社ライトワークス（本社：東京都千代田区、代表取締役：江口夏郎、以下ライトワークス）は、従業員数1,000名以下の企業を対象に、オールインワンeラーニングサービス「CAREERSHIP GROWTH」の提供を開始することをお知らせします。

*出典：富士キメラ総研「2023 SX/GX によって実現するサステナビリティ/ESG 支援関連市場の現状と将来展望」学習管理システム（クラウド） 2022年度金額シェア

CAREERSHIP GROWTH

CAREERSHIP GROWTH の詳細

URL : https://www.lightworks.co.jp/services/careership_growth

【「CAREERSHIP GROWTH」の開発背景】

ライトワークスのLMS「CAREERSHIP」は、業界を問わず、多くの企業の学習管理におけるニーズを網羅的に満たし、戦略的な人材育成を可能にする統合型の学習プラットフォームです。あらゆる学習を「集約」「管理」できるだけでなく、スキルの可視化による自律的キャリア構築の支援など、「ひとの成長」に関わるすべての段階に寄り添い、サポート可能なことから、数々のエンタープライズ企業に導入いただいています。

<導入企業>



👉 オールインワンeラーニングサービス「CAREERSHIP GROWTH」提供開始

ライトワークスのLMS「CAREERSHIP」は、多くの企業の学習管理におけるニーズを網羅的に満たし、戦略的な人材育成を可能にする統合型の学習プラットフォームであり、数々のエンタープライズ企業に導入いただいておりますが、このたび「CAREERSHIPを企業規模を問わずより多くの企業にご利用いただくため、機能と価格を最適化した新サービス「CAREERSHIP GROWTH」の提供を開始しました。

「CAREERSHIP GROWTH」は、「CAREERSHIP」と、300タイトル1,000本以上のeラーニングを搭載したeラーニング受け放題サービス「まなびプレミアム」をセットにしたオールインワンeラーニングサービスです。このサービスにより、限られたリソースでも効率的に研修体系を整えることが可能になります。

05

2025年1月期 通期業績見通し

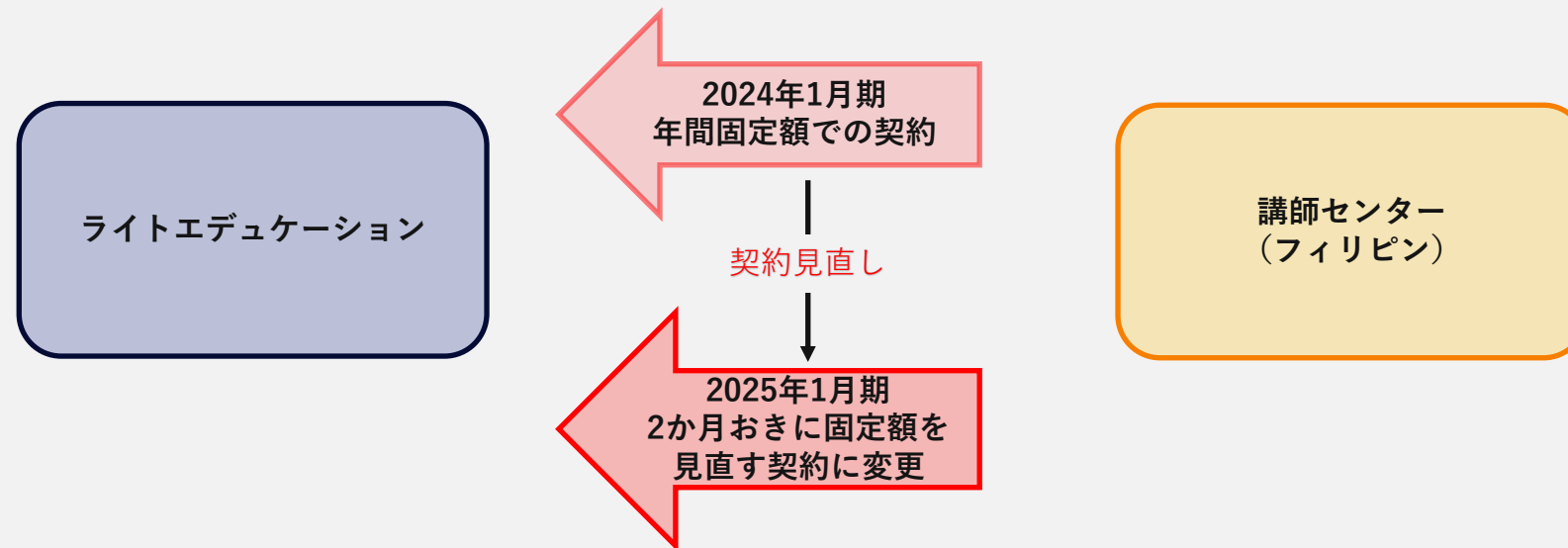
2025年1月期 業績予想

(単位：百万円)

	2024年1月期 実績	2025年1月期 業績予想	前年比
売上高	3,199	3,634	+13.6%
営業利益	243	271	+11.8%
経常利益	244	272	+11.4%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	221	178	△19.3%
※特別利益を除いた親会社株主に帰属する当期純利益	172	178	+3.4%

- 2024年1月期は保険返戻金67百万円を特別利益に計上した影響で親会社株主に帰属する当期純利益が48百万円程上振れております。なお、特別利益の影響を除いた2024年1月期当期純利益は172百万円であります。
- 2025年1月期売上高は、引き続き好調なHCMプラットフォームサービスの売上増加を中心に前年比+13.6%で見込んでおります。

オンライン英会話サービスにおける為替影響について



オンライン英会話サービスの講師は、フィリピンの講師センターから提供を受けており、2024年1月期は円建ての年間固定額契約（1ペソ＝2.0円で換算した額）を締結しておりましたが、円安の影響やフィリピンでの労働費を中心としたインフレの影響が顕著であり、かつその影響が短期間で生じていることを鑑み、今期の契約は2か月おきに為替レートを考慮し締結を見直すことといたしました。現在はおおよそ1ペソ＝2.6円程度で推移しておりますが、為替相場が悪化（円安）した場合は、講師センターとの契約を見直すことになるため、当社グループの連結数値に影響を及ぼす可能性があります。

本資料の取り扱いについて

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これら将来の見通しに関する記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されています。これらの記述は、将来の結果や業績を保証するものではありません。

このような将来予測に関する記述には、既知および未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。

上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内および国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限られるものではありません。

また、当社以外の事項・組織に関する情報は、一般に公開されている情報に基づいており、当社はそのような一般に公開されている情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証していません。